



② (会員の参加作品)

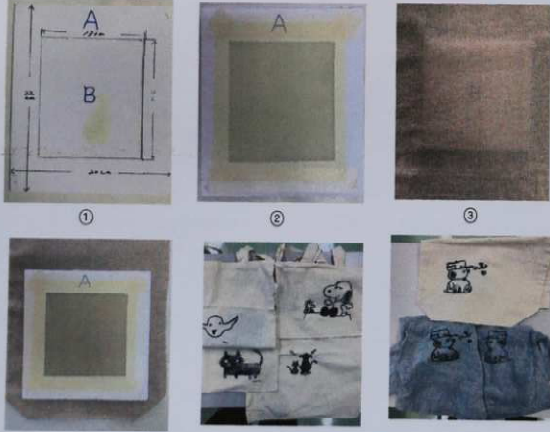
■ 午後の部 (13:00~16:00)

【布に刷る】 担当 栗林

- ポリスチレンボード(ダイソーで購入)で印刷器を制作。写真①  
(A:22cmX20cm B:14.5cmX13cm)
- ※ Bの中板を切る。印刷の時に布をかぶせる為、切り口を2.3mm小さくする。
- Aにコロジオン原紙を貼り、下絵を抜き液で描く。写真②
- Bの中板に印刷部分の布をかぶせる。③写真
- Bの中板に、コロジオン原紙を貼って製版したAを重ねる。写真④

【刷り方について】

ローラーで印刷する面にインクを少し厚めに乗せる。次にタンポでインクを補充しながら、上から押さえつけながら刷る。



(印刷した買ひ物袋・Tシャツ)

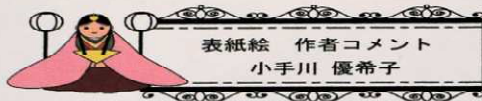
はんの会 事務局  
〒274-0062 船橋市坪井町600-29  
安田 彰 Tel・Fax 047-464-6870  
ホームページ : www.hannokai.net

# はんの会

No.245



表紙絵 小手川 優希子  
2022年3月1日発行



表紙絵 作者コメント  
小手川 優希子

- 題名 オマージュ
- コロジオン原紙を使用して、始めに薄いピンク色で花を刷る。
  - 版を掃除して薄いピンク色を残したいところをのりで伏せ、ローズパーマントで刷る。
  - 版を掃除してルビーレッドをタンポで濃くしたいところを適当にボンボン。
  - コロジオン原紙を張り替えて、開いた葉っぱ、茎の先端を描き液で抜いてライトグリーンで刷る。
  - 版を張り替えて濃いグリーンのところを抜き、パールグリーンで刷る。
  - 版を張替え外枠をムーングレーで刷る。
  - サインをデザイン風に、角の装飾内に丸に入れる。

## 3月の学習会会場の変更について

- ① 日時 3月13日(日) 11:00~15:00
- ② 会場 サンシティー洋室  
\*集合:都営三田線「志村三丁目駅」(改札口10:40)

■ 午前の部 (11:00~12:00)

- 3月表紙絵の制作プロセスと解説

■ 午後の部 (13:00~15:00)

- 色の研究・混色について (担当 佐藤)  
(混色の手引きを使ってメッセージカードを作ってみる。)

(持ち物)  
・印刷道具一式 ・コロジオン原紙 ・抜き液

(佐藤さんが用意する物)  
・絵の具 ・名刺用の連結用紙  
(原画は9×5に収まるくらい。原画は用意いたしますが、お好きなも)

## 2月の学習会報告

■ 午前の部 (10:00~12:00)

- 表紙絵2月号の解説「草原へ向かう」(佐藤)

制作の手順は12月号の「作者コメント」の通り。以前写真で見たイヌワシの着地する姿が印象に残り、制作の原点に。同じ画題で染色作品も作ったほどの思い入れだ。図鑑で確認すると、体は茶色であったが、絵としての迫力を考え黒とした。雪原の左右にも2羽いたが、これも構成上1羽だけに。

入念な鉛筆スケッチを経て、作品に仕立てたが、広げた羽の白い線など細かじ箇所をヤスリで仕上げるなどの苦勞があった。雪原の影はもう少し濃くすればよかった、とは本人の弁。制作途中の指り見本は写真の通り。



○ 令和年度はんの会総会(三文字)

1. 会則の変更:第2条の事務局の変更
2. 機関紙の発行:学習会(定例会)のない1月、8月はそれぞれ1+2月、8+9月の合併号とする。その結果発行は 年10回となる。表紙絵は従来通り。
3. 展覧会のある5月は学習会は中止する。
4. 令和3年度の事業報告と会計報告:了承。
5. 令和4年度事業計画

- ① 会員の減少に伴い会費収入が減少するため、経費削減と効率的な運営を心掛ける。会報制作費・事務用品費は大幅に削減となる。
- ② 定例会は4月から公民館使用料の安い午後のみと(13:00~17:00)する。
- ③ 退会・休会の扱いを徹底する。

○ 年賀状交換会の作品鑑賞と配布。

三重県の大羽根園孔版画同好会(代表:榎本氏)が事務局を務める年賀状交換会。令和4年度は参加者が団体10、個人2、計52名77作品が集まった。当会からは5名、8点に参加。

当会の作品を除き、送付された全作品から厳選された作品は写真の1の通り。当会から応募した8点は写真2の通り。

